# アートギャラリー令和2年度~令和3年度スケジュール

#### 2 年 度(当初計画) 和 3 年 度(予定) 和 スタジオ 月 スタジオ 月 火 水 土 日 火 水 土 日 木 金 展示室A•B 木 金 展示室A•B 4月 4月 展示入替 第9回新鋭作家展 4月4日~5月24日 石川九楊展 (44日間) 4月6日~5月30日 5月 5月 (48日間) 展示入替 6月 貸館 貸館 6月 第15回 川口市美術家協会選抜展 第15回 川口市美術家協会選抜展 6月17日~28日(11日間) 6月16日~27日(11日間) 小中高校硬筆展 7月1日~5日 小中高校硬筆展 6月30日~7月4日 7月 <u>7月</u> 貸館 $\sqrt{12}$ オリンピック・パラリンピックイベン 8月 8月 施設整備期間 7月7日~9月6日(54日間) (床改修工事) 12 WS·講座 9月 13 WS·講座 9月 水道ポスターコンクール展 水道ポスターコンクール展 貸館 川口の美術家たちのアートな毎日 27 WS·講座 貸館 寄贈作品展 貸館 9月23日~10月17日 10月 10月 -5 (22日間) 18 川口の美術家たちのアートな毎日 子供会絵画展 WS∙講座 子供会絵画展 WS·講座 11月 $\sqrt{2}$ 11月 第15回アーティスト・イン・スクール 第15回アーティスト・イン・スクール 10月31日~12月6日 10月30日~12月5日 (32日間) (32日間) 12月 特別支援学級展 12月 特別支援学級展 生き物絵画展 $\sqrt{13}$ 生き物絵画展 ワークショップ等成果展示 ワークショップ等成果展示 年末年始休館 年末年始休館 1月 1月 アートな年賀状展 アートな年賀状展 1月7日~1月24日(16日間) 1月7日~1月24日(15日間) 中学生のART CLUB展 中学生のART CLUB展 1月30日~2月7日(8日間) 1月29日~2月6日(8日間) 2月 13 ||口市小中高校書きぞめ展(5日間 14 川口市小中高校書きぞめ展(5日間 2月 川口の図工美術まなび展 川口の図工美術まなび展 2月20日~28日(8日間) 2月19日~27日(8日間) 3月 オープンファクトリー 貸館 3月 貸館 オープンファクトリー 施設整備期間 施設整備期間

展示入替

# 石川九楊(いしかわ きゅうよう)展

# 1概要

日本を代表する現代書家であり、書の研究の第一人者でもある石川九楊の展覧会を開催し、書の魅力、石川九楊作品の魅力を、広く市民に紹介する。

展示作品は、川口市にちなんだ作品や、アトリアの空間を存分に生かした大作を中心に発表する。

# 2 内容

### 【展示室A/B】

川口にちなんだ作品、及び 新作~近作

## 【スタジオ】

これまでの代表作を中心に

- 「敗戦古稀」シリーズ
- ・「歎異抄」一冊分が書かれた掛軸
- ・源氏物語シリーズ
- ・「9.11」や「3.11」をきっかけにした作品 等

# 3期間

2021年4月6日(火)~5月30日(日)※調整あり

# 4 場所

展示室A/B・スタジオ

## 5効果

60年以上に渡って書を根源的に探究してきた石川九楊の作品を紹介することで、芸術としての書、オリジナリティ溢れる書の楽しさ、深さに触れ、他にはない感動を、市民に提供することができる。 全国にファンがおり、多くの集客が見込める

<参考(1)>

2019 年 8 月~10 月まで、名古屋市内の古川美術館、古川美術館分館 爲三郎記念館において開催された「第二楽章 書だ!石川九楊展」では、来場者 5,500 名、講演会には全国から 300 名が集まった。 <参考②>

2005 年「石川九楊の世界展」(日本橋三越)では、1 週間で 16,000 人、大丸京都での開催には 11,000 人の来場者があった。

第 15 回アーティスト・イン・スクール 安部典子(美術家)×川口市立安行東中学校(学年未定)

# 講師プロフィール

1967年埼玉県生まれ。1990年武蔵野美術大学油絵学科卒業。

1992年より発表を本格化。現在、深谷市・ニューヨーク市拠点。

重ねた紙をカッターで切り抜くカッティングプロジェクトで知られる。平面と立体を行き来する作品は 繊細かつダイナミックなランドスケープを思わせる。特に既製の本を切り抜く「ブックカッティング」で は、他者が編みだす文脈(歴史、物語など)に自身の視点が交差していく瞬間の堆積を見せ、制作に必要 な膨大な時間と卓抜した技術で注目された。

## コレクション

ニューヨーク近代美術館 ヒューストン美術館 ホイットニー美術館 イエール大学美術館 雲南省立美術館 うらわ美術館 日産アートコレクション

#### 受賞歴・採択

1999-2000年 ポーラ美術振興財団助成によりニューヨーク滞在

2004-2005年 文化庁海外派遣制度によりニューヨーク滞在

2013年 日産アートアワード ファイナリストに選出

#### 近年の発表

2020年〈Shadows and Synchronicity〉Maho Kubota Gallery(東京/日本)

2019年〈CUT OUT!切り抜きの冒険-本をめぐるアートコレクションより〉うらわ美術館(埼玉/日本)

2018年〈第4回昆明アート・ビエンナーレ〉雲南省立美術館(中国)

〈A COLOSSAL WORLD 日本人アーティストとニューヨーク〉ホワイトボックスギャラリー (ニューヨーク/アメリカ)

2017年〈(Un)filtered Reflections〉ロフト・アット・エルメス(シンガポール)



Lands of Emptiness (2000-2002) 2250 枚の奉書紙を切り重ねた作品



Under the Big Tree (2017) アジア史に関する書籍 22 冊を切り重ねた作品